表面処理を施した REBCO 薄膜における非対称臨界電流特性の向上

Enhanced Asymmetric Critical Current Properties in Surface-Treated REBCO Films 名大工¹, 産総研²⁰土屋 雄司¹、鈴木 啓介¹、鶴田 彰宏²、申 ウソク²、一野 祐亮¹、吉田 隆¹

Nagoya Univ.¹, AIST², [°]Yuji Tsuchiya¹, Keisuke Suzuki¹, Akihiro Tsuruta², Woosuck Shin²,

Yusuke Ichino¹, and Yutaka Yoshida¹

E-mail: tsuchiya@nuee.nagoya-u.ac.jp

1. はじめに

超伝導体の新規機能性として、電流方向によって 異なる J。特性を示す超伝導ダイオードが提案されて いる[1]。例えば、低温超伝導薄膜や、微細加工を施 した REBa2Cu3O₂(RE は希土類元素、REBCO)高温超 伝導薄膜において非対称 J。特性が報告されている[2, 3]。我々はこれまで、BaHfO3 (BHO)を導入した SmBa2Cu3O₂ (SmBCO)薄膜において面内磁場下で非 対称 J₆が現れ、その非対称性は薄膜表面が平坦なほ ど向上することを報告してきた。

本研究では、REBCO 薄膜の表面平坦性を制御する 手法として反応性イオンエッチング(Reactive ion etching、RIE)に着目し、REBCO 薄膜に対し RIE を行 うことで、表面処理が J_{o} 非対称性に与える影響につ いて調べた。

2. 実験方法

パルスレーザー蒸着法を用いて、BHO を 0-5vol.% 添加した膜厚 600-900 nm の SmBCO 薄膜を LaAlO₃ 基板上に作製した。つぎに、RIE 装置を用いて CF4、 O₂雰囲気中で 100-300 W、30-120 分間表面処理を行 った。試料を幅 100 μ m、長さ 1 nm のブリッジ形状 に加工し、直流四端子法によって電圧基準 1 μ V/cm に対する J_c非対称性の磁場依存性を測定した。測定 には、カンタムデザイン社製 PPMS およびカスタム サンプルパックを用いて、-9 から 9 T の面内磁場下、 77 K での J_c非対称性を測定した。ここで、得られた J_cのうち磁束へのローレンツ力が薄膜-基板界面から 表面方向にはたらく場合を J_c^{up}、逆方向を J_c^{down} とし、 非対称性 Asym.をAsym. = $\Delta J_C/avg(J_c^{up}, J_c^{down})$ と定義 した。

3. 実験結果

Fig. 1(a), (b)に、150 W、30 分間の RIE 前後の 5vol.%BHO 添加 SmBCO 薄膜の AFM 像を示す。RIE によって表面の粒子が除去され、直径数十 nm、深さ 2-5 nm の穴が生じた。この際、二乗平均面粗さは、 24 nm から 16 nm へ減少した。この結果から、RIE に よって REBCO 薄膜の表面平坦性が向上することが 示された。

Fig. 2 に、0, 3, 5vol.%BHO 添加 SmBCO 薄膜におけ る非対称性 *Asym*.の最大値 *Asym*.^{max}の RIE 強度依存性 を示す。全ての添加量に対し、RIE 強度が 150 W の とき非対称性の向上がみられた。この結果は、磁束 量子は薄膜表面の表面バリアが増強されたことを示 している。一方、300 W 以上の強度の RIE を施した REBCO 薄膜における *T*。は 77 K 以下に低下した。以 上の結果から、RIE による表面処理は、REBCO 薄膜 の表面平坦性および *J*。非対称を向上し、RIE には最 適条件があることが示された。

当日は、RIE の最適条件および表面平坦性が表面 バリアに与える影響について報告する。



Fig. 1 AFM images of 5vol.% BaHfO₃-doped SmBa₂Cu₃O_y films (a) before and (b) after RIE.



Fig. 2 Etching power dependence of *Asym.* in 0, 3, and 5vol.% BaHfO₃-doped SmBa₂Cu₃O_y films.

謝辞

本研究の一部は、科学研究費補助金(16K20898)、 JST-ALCA、(公)中部電気利用基礎研究振興財団から の助成を受けて実施した。

参考文献

- [1] X. G. Jiang et al., Phys. Rev. B 49, 9244 (1994).
- [2] A. Palau et al., Phys. Rev. B 85, 012502 (2012).
- [3] J. Lustikova *et al.*, Nat. Commun. 9, 8 (2018).